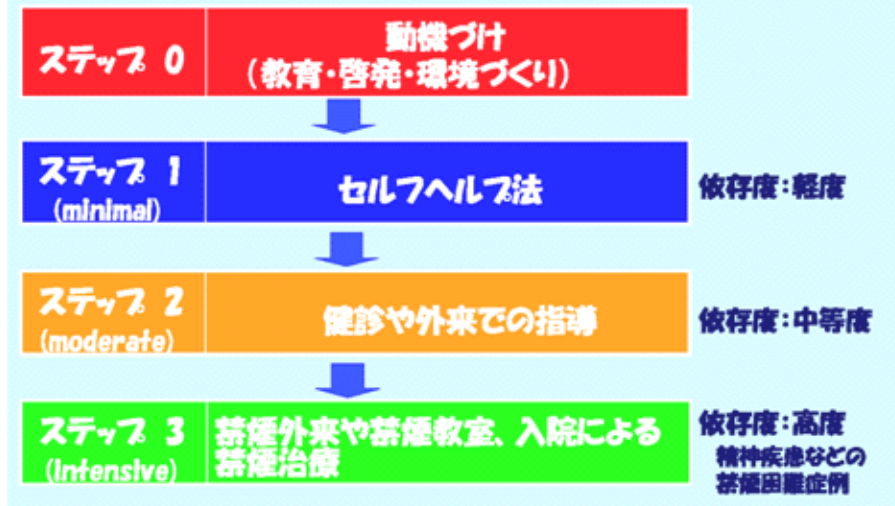


禁煙サポートのステップ・ケア・モデル



© 厚生労働科学・中村班 2002

禁煙サポートのステップ・ケア・モデル

- このモデルはニコチン依存症の包括的な治療モデルとして提唱されたもので、地域や職域において禁煙サポートの体制をどのように整えればよいのかについての枠組みを示している。
- 「ステップ0」は、マスメディア等による教育・啓発活動に加えて、公共の場所や職場の禁煙化、さらにはタバコ税の値上げやタバコ広告の禁止などの環境面からの働きかけを用いて、喫煙問題への気づきを促し、喫煙者の禁煙に対する準備性(ステージ)を高めることをねらいとしている。
ステップ1~3は、禁煙の準備性の高まった喫煙者に対して、禁煙の具体的なサポートを行う段階で、喫煙者のニコチン依存度や医学的リスクに応じて3つのステップに分けられる。
- 「ステップ1」は、ニコチン依存度が低く、比較的禁煙しやすい喫煙者を対象としたもので、セルフヘルプ教材の提供や禁煙コンテストの開催など、多くの喫煙者に到達可能な簡易な最小限の禁煙サポートを行う。
- 「ステップ2」は、ニコチン依存度が中等度の喫煙者やタバコ関連疾患またはそのリスクが高い喫煙者を対象としたもので、医療や健診の場を生かした中等度の禁煙サポートを行う。ニコチン代替療法も必要に応じて組み合わせる。
- 「ステップ3」は、高度なニコチン依存者や精神疾患など、禁煙が困難な喫煙者に対して、禁煙外来や禁煙教室、入院施設での集中的なサポートを行う。この段階では、ニコチン代替療法の併用が強く勧められる。